

令和5年度 応急危険度判定防災訓練 意見対応一覧

No.	ご意見	対応概要
1	防災倉庫の資機材にヘルメットが必要。	参集場所までの安全を確保するため、各自、ご自宅や勤務先等の出発地からご着用いただきますようご協力をお願いいたします。
2	防災倉庫のリュックの一つにテストハンマーが入っていない。	不足しているリュックにテストハンマーを追加します。
3	防災倉庫のリュックの一つにクラックスケールが入っていない。	不足しているリュックにクラックスケールを追加します。
4	判定結果のステッカーについて、調査済（緑）はたくさん入っているが、仮に全て危険と判断した場合、より分かって頂きたい危険（赤）が、判定する建物4棟に対し4枚しか入っていないため、もう少し必要。	本市の防災拠点施設となっている施設については、耐震性能の高い施設が多いため、危険（赤）のステッカーの配備枚数を少なく配備しております。ステッカーの配備枚数について、再検討し、必要に応じて追加します。
5	担当する地区支部に、今年度判定士が追加されたと思うが、防災倉庫のリュック内の「連絡票（判定開始）」に追加された人の名前が記載されていない。	リュック内の「連絡票（判定開始）及び（判定結果）」の様式については、必要に応じて差し替えや追加等の対応をいたします。
6	防災倉庫のリュック内の「連絡票（判定結果）」について、具体的な施設名称を記した用紙が入っていない。	
7	防災倉庫のリュック内に、下げ振りの本体とおもりが分かれて入っているため、すぐに使用できるようにセットしておいた方がよい。	下げ振りについては、順次セットしてリュック内に収納します。
8	防災倉庫のリュックの外側に付いている「応急危険度判定資機材」と記載されている札が、1つ壊れている。	「応急危険度判定資機材」の札について、壊れているものは交換し、付いていないリュックには取り付けます。
9	上記札が1つ付いていないリュックがある。	
10	防災倉庫内のリュックが劣化している。	確認の上、必要に応じて交換します。
11	柱の位置のある図面がほしい。	判定建物の平面図等を配備するように準備を進めます。

資機材関係

	No.	ご意見	対応概要
その他	12	SUNPUシステムとは何か？	SUNPUシステムとは、静岡市職員が災害情報を共有するシステムのことです。大規模地震発災時には、判定士のみならずから地区支部員（市職員）へお渡しいただく連絡票（「判定開始」と「判定結果」）をこのシステムに地区支部員が登録し、市として情報共有します。発災から2時間経過しても「判定開始」の連絡票がこのシステムで確認できない地区支部には、建築部災害対策支部（各区に設置）に参集した判定士を派遣する計画としています。
	13	判定士が高齢化しているようなので、メンバーの見直しも必要かもしれない。	
	14	実際の発災時には2人以上で判定できるように、各地区担当を3人以上とすることも必要ではないかと感じた。	現在のところ割当エリアごとの判定建物について、救護病院及び災害拠点病院を含めて変更する予定はございません。毎年、応急危険度判定士の講習会の際、呼びかけ（募集チラシの配布）をしたり、個別に依頼をさせていただいたりしておりますが、新規協力者が増えない状況です。（市ホームページでは常時募集中）
	15	当割当エリアでは、建物規模の大きい救護病院及び災害拠点病院が判定建物として複数あり、また、これらの建物は、避難所建物より優先的に判定することになっている。 現在の判定士数では、救護病院等の判定活動で1日が終わり、目標の24時間以内に避難所建物の判定まで対応できない。	今後、改めて人員増加に向けた働きかけを行いますが、お知り合いの判定士の方への参加のお声かけについてご協力をお願いいたします。
	16	訓練参加者が1人であり、他の判定士との顔合わせができなくて残念でした。	
	17	各地区の判定士をよく知らないため、集まる機会があれば各自の関係等がわかると思う。	今後も引き続き防災訓練を実施できるよう計画していきます。また、地区支部ごとでなく、一定の区域（区ごと等）で集まった訓練の実施についても検討していきます。
	18	建築総務課に一度最初からレクチャーしてほしい。多分有事の時は混乱する。	
	19	地区支部として使用する建物の判定が終了していない場合の参集や対応（建物使用）についてご確認ください。	地区支部となる建物についても、避難所と同様に判定終了後の使用となります。地区支部員（市職員）にはその旨説明済みですが、今後改めて周知するよう努めます。

	No.	ご意見	対応概要
その他	20	判定後、判定結果のステッカーを地区支部員（市職員）に渡せば良いか？	各応急危険度判定士の方は、判定後、判定結果のステッカーを当該建物の見やすい位置に貼付してください。なお、建物にステッカーを貼付できるようにリュック内にガムテープを配備しておりますのでご利用ください。
	21	実際の地震発生後に参集する場合、往路の状況により迂回せざるを得ない場合が予想される箇所があった。 町の様子も様変わりしており近道を選んだつもりが、道に迷いそうになった。歩いてみて初めてわかった。	今後も引き続き防災訓練を実施できるよう計画していきますので、またご意見等ございましたらご連絡くださいますようご協力をお願いいたします。
	22	応急危険度判定のやり方を思い出す良い訓練だった。 確認過程の再確認ができ有意義だった。	